

磐城時報

編輯兼發行 岡田弘成
印刷 岡田弘成
印刷所 磐城時報印刷所
發行所 磐城時報社
社址 磐城町三丁目
電話 一〇二〇
郵政 第一種郵便物
定額 一月五圓
廣告料 一行十二字五圓
日刊（日曜除日）週日休刊

三村聯絡をこつて 經濟更生に邁進

一日平町で協議

指定最終年度に經濟更生村に更生計畫の下に邁進すに指定された石城郡川部、及び、實成、成績を得られる小川、磐崎の三ヶ村ではさき言ふ處から來月一日石城に指定され更生の實を舉げる團體事務所に各計畫を立てて先進行を急ぐに努め、先づ各官の出席模範村とならんと各村夫々を求め理想建設の具體的の更生計畫を立て、ついでに協力を爲し一途經濟更生に一村が個々別々に進むより突進することになった。

警察で斡旋の結果 人絹賠償金解決

十七日第二次會見の結果 一千三百圓で決定

既報「錦村昭和人絹工場」本工場課長を出発せしめ設り流下する塩素ガスの水田備の状況等について取調べ被害は同村江栗部部落民代表等暗々裡に事件解決の幹が此程會社に對し被害面積に努めたので十七日午後百町歩の賠償金五千圓を要する第二次交渉の結果、結果として、會社では五十圓局千三百圓の賠償金を支出だけ支拂ふと主張し兩者の事となり圓滿解決した。差額甚だしく不調に終つたが、植田署久和署長は十六日人絹工場事務課長川名啓之、工場課長山本三郎兩氏を招致し圓滿解決を婉曲にて鯉漁不振を嘆いてるた警告し一方縣保安課でも昨城七濱は最近漸く近海に鯉年來の藥害に鑑み十七日山群の洄游を見て俄然活氣を

鯉漁近づく

江名漁船大漁

呈し、十六日は早朝江名町漁船福田丸が一ヶ年振りで大漁の旗を翻しながら小名濱に入港した。水揚數量は鯉七百六十本、トンボマダラ二百八十本で相場は不漁の折柄鯉十一割、マダラが十四割といふ眞値を示したやうに沈まらぬ魚市場にドツと歡聲が上つた。

經濟更生豫算

川部村では經濟更生村に指定されたので委員設置に關する條例計劃豫算に三百圓を決議した。

神白トンネル 堀割り工事

工費三萬圓で着手

小名濱、江名間縣道にあるを聞き、組合長以下各役員神白トンネルは腐朽甚だしの改修を行なつた結果左の通り危険を感じてたが、愈々工費三萬圓東北振興會課木村技師が實測に着手する。該トンネルは延長四百五米で、堀割り工事の外幾多のカーブも除去されるわけである。

四倉脱衣場組合 役員改選

吹野三三三と口論の末を例年田植時に平町附近農村に刺身庖丁で矢吹の頭を切りつけ全治二週間の重傷を負せられた。午後十時町役場の酒井助役さん

農繁托兒所

大野村大字戸田圃福寺住職三吉教順氏は農繁期に去る福島戸陳場町生れ住所不定さキヨの親戚に當る高山ヒサから十七日平署に搜索方を

九品寺の 農繁托兒所

大野村大字戸田圃福寺住職三吉教順氏は農繁期に去る福島戸陳場町生れ住所不定さキヨの親戚に當る高山ヒサから十七日平署に搜索方を

葬儀の式場で 罵倒して告訴

内郷村宮字草野野金四郎（其他關係者列席の下に賑や三七）は去る五月十二日同村鬼ヶ澤草野野利久方の葬儀に際し會葬者百余名のゝ中、同村平太郎浦井經松（集り、保母さんコレハ四八）を罵倒して十七日平署に名譽毀損で告訴されたにはモット多くな事だら

消防幹部 視察旅行

平消防組幹部の關西並に北陸方面の消防視察は廿日から四泊五日の豫定で行ふ。

四倉町新税

四倉町十一年度の樂器、備日間に迫り、日と共に大人人、オルガン、ピアノの新氣を呼び前買り入場券も大税は備人十八人、オルガン三小藝妓の御座敷販賣戰術なる人、善音器四十一人、備人七枚を賣り捌き開場二日四圓四十錢、縣稅五圓、オルガン三人町稅二圓二十二間とも大入満員の見透しが器四十一臺町稅十八圓四十錢、縣稅二圓五十錢、善音器附いたので組合幹部連は風九錢縣稅二十一圓、合計縣稅二十八圓五十錢、附加稅二十五圓である。

刺身庖丁で刺す

ケチン坊と罵られ

圓福寺に 部落民感謝

大野村大字戸田圃福寺住職三吉教順氏は農繁期に去る福島戸陳場町生れ住所不定さキヨの親戚に當る高山ヒサから十七日平署に搜索方を

平藝妓の 舞踊大會

平藝妓總出演の第二回慈善舞踊大會は愈々々と十演藝舞踊大會は愈々々と十

四倉郵便局 新築に着手

四倉郵便局は工費一萬圓で新築に着手した。

大野村合格者

大野村昭和十一年度に於ける徴兵検査の壯丁者は四十三名中甲種合格者十九名で左の如し。

郡山で捕る

さる十六日午後八時頃郡山市内を徘徊中の不審の男を町小島國義（二五）と手を携へて行衛を晦ましたが、郡内に入り込んだらしいからサから十七日平署に搜索方を

部落民感謝

大野村大字戸田圃福寺住職三吉教順氏は農繁期に去る福島戸陳場町生れ住所不定さキヨの親戚に當る高山ヒサから十七日平署に搜索方を

自動車検査

平、植田、四倉、富岡四署管内の自動車々々検査は二十五、六、七日の三日間平町八幡小路の検査場で行ふ

保線作業映畫

平保線区では二十三、四の兩日内郷村淺野記念館で保線作業の映畫を一般に公開する。

踏倒す

東京の株屋

恐喝男に一年

錦村中田字中田原設樂音吉方齋職本田清（二五）が一杯機嫌からやくざを氣取り昭和十一年に平署で野木判事係り氏家偵事關與公判開廷清は全く後悔して犯行一切を認むに認め検事は懲役一年を求刑した。判決は今日。

部落民感謝

大野村大字戸田圃福寺住職三吉教順氏は農繁期に去る福島戸陳場町生れ住所不定さキヨの親戚に當る高山ヒサから十七日平署に搜索方を

自動車を 盗取

馬目そば店に雇はれてゐた氏は感謝の意味で四十五圓を出しオルガン一臺を贈つた。

部落民感謝

大野村大字戸田圃福寺住職三吉教順氏は農繁期に去る福島戸陳場町生れ住所不定さキヨの親戚に當る高山ヒサから十七日平署に搜索方を

部落民感謝

大野村大字戸田圃福寺住職三吉教順氏は農繁期に去る福島戸陳場町生れ住所不定さキヨの親戚に當る高山ヒサから十七日平署に搜索方を

部落民感謝

大野村大字戸田圃福寺住職三吉教順氏は農繁期に去る福島戸陳場町生れ住所不定さキヨの親戚に當る高山ヒサから十七日平署に搜索方を

部落民感謝

大野村大字戸田圃福寺住職三吉教順氏は農繁期に去る福島戸陳場町生れ住所不定さキヨの親戚に當る高山ヒサから十七日平署に搜索方を

部落民感謝

大野村大字戸田圃福寺住職三吉教順氏は農繁期に去る福島戸陳場町生れ住所不定さキヨの親戚に當る高山ヒサから十七日平署に搜索方を

部落民感謝

大野村大字戸田圃福寺住職三吉教順氏は農繁期に去る福島戸陳場町生れ住所不定さキヨの親戚に當る高山ヒサから十七日平署に搜索方を

部落民感謝

大野村大字戸田圃福寺住職三吉教順氏は農繁期に去る福島戸陳場町生れ住所不定さキヨの親戚に當る高山ヒサから十七日平署に搜索方を

部落民感謝

大野村大字戸田圃福寺住職三吉教順氏は農繁期に去る福島戸陳場町生れ住所不定さキヨの親戚に當る高山ヒサから十七日平署に搜索方を

部落民感謝

大野村大字戸田圃福寺住職三吉教順氏は農繁期に去る福島戸陳場町生れ住所不定さキヨの親戚に當る高山ヒサから十七日平署に搜索方を

外科専門
光線科
 入院院應需
 上田外科醫院
 電話二一九番

夏の京呉服どうすもの

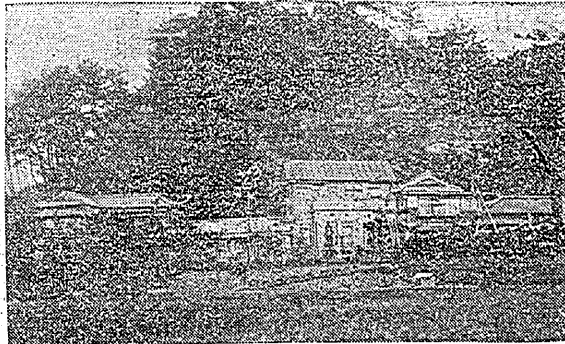
紋紗小紋や呂小紋・ジヨゼツトと涼しい氣分の柄が澤山入荷致してあります。單帶・呂丸帶・呂九寸・種々取揃へて御座います。どうぞ御買物は三井へ御命下さい。



三井呉服店
 電話38・284番

最も新らしい柄の
 中形ジヨゼツト、紅梅織や流行の絞りが山と積んで店内を夏氣分に致しまして皆様を御待ちして居ります。

御宴會



毎度格別の御座候いたゞき難有く御禮申し上げます。愈々御宴會季節と成りましたので、御宴會の御下命賜り度く団体様には御徳用な下記弊館御宴會規定を精々御利用下さい度御願申し上げます。

松印	3.50	御會席七品付(外果物、御飯香物) 共一式 藝妓花代、御酒、入浴料、サービス料
竹印	3.00	御會席六品付(外果物、御飯香物) 共一式 藝妓花代、御酒、入浴料、サービス料
梅印	2.50	御會席五品付(外果物、御飯香物) 共一式 藝妓花代、御酒、入浴料、サービス料

但十人様以上ノコト。藝妓ハ五人様毎ニ一人二時間。(松印=限リ半十人様ニ一人付) 御酒ハ御一人酌酒二本ヅ、ノコト

◎お申込みは時節兩なるべく至急下記へ

お問合せは 電話(小名濱)103番

通話料は弊館にて負擔いたします。



小瀧鑛泉 瀧乃湯旅館
 電話103 割烹部

平町一丁目
和久井屋
 電話四〇五番

漆器と家具は

春は...
 レンコート
 春のオーバ
 春のセビロ
 御用命を!



正札堂洋服店
 電話四三番

女工さん集募
 委細面談
 加納活版所

大蔵省允許
借財無盡
 即日現金
 利息優待
 保証不要
 電話掛り板

磐城高等女學校
夏の制服賣出
 輝く碧空の下に颯爽となかやの制服で!
 型。生地。裁縫。細かい点にまで充分吟味して御座ひます。
 145
なかや洋服店 平電 208

平町二丁目(電話五二三番)
高久病院
 内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科
 醫學士 高久忠
 新瀧醫學士 赤羽清
 藥劑士 佐竹菊雄

時代の要求
皆様の足?
 尼子タクシーへも豆タクが入りました
 御立關から立關へ迅速簡便
 是非御利用を
 市内 三〇錢
 市外 四割引
宮行 直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします
 平町二丁目
尼子自動車商會
 電話六四〇番

父丹野榮三郎儀病氣の處療養不相叶昨十六日午後八時死去仕候間此段御通知申上候
 追而葬送の儀は六月二十日午後二時出棺大館青雲院に於て佛式により相營可申候
 昭和十一年六月十七日
 福島縣平町二丁目
 喪主 根本善吉
 親戚一同

●寫眞機 **關内藥局**
 材料一式 電話四〇番
 ●秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス
吸入用酸素 純度99%
 度量衡
 モノサシ
 ハカリ
 マス
 体温器
 寒暖計

夜
腸胃
 胃腸病科
 花柳病科
 性病科
 泌尿器科
 皮膚科
 肛門科
門專
院醫科性胃村松
 (番七〇一電) 町南町平